建築作品、特徴

R4 17

図書館（所在地、建設年）に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．**国際子ども図書館**（東京都、2002年）は、敷地の余剰容積を他の敷地に移転できる制度を活用して、大正時代に竣工した鉄骨レンガ造の歴史的建造物を再生・利活用している。
- 2 ．**まちとしょテラソ［小布施町立図書館］**（長野県、2009 年）は、間仕切りを必要最小限に抑えることで大空間を実現させ、三角形平面プランの中央に開架書庫を配置し、 3つの辺に沿って縁やかに分けられたスペースがつくられている。
- 3 ．**フランス国立図書館**（パリ、1995 年）は、緑豊かな中庭をもつ口の字型の基壇部と、その四隅に配置された L字型の高層棟により構成されている。
- 4 ．**デンマーク王立図書館**（コペンハーゲン、1999 年）は、既存の王立図書館（旧館）に対し、道路を挟んだ運河側に黒色のガラス張りの新館が増築され、メインエントランスは新館に設けられている。

R3 14

建築物と周辺環境に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．TIME'S Ⅰ、Ⅱ（京都府）は、屋根全体を大階段の展望広場とし、その大階段を二分するスリット状のアプローチが人々をエントランスに導くように計画された。
- 2 ．**アオーレ長岡（新潟県）**は、駅前に建てられた市民協働・市民交流の拠点であり、大通りに開かれた屋根付き広場を中心に、アリーナ、市民交流スペース、市役所、議会等を配置した複合施設として計画された。
- 3 ．**太田市美術館・図書館（群馬県）**は、建築物の屋内外を巡るスロープや階段、テラス、緑化された屋上を備え、駅前からは施設の賑わいが見え、また、施設からは街が眺められるように計画された。
- 4 ．**代官山ヒルサイドテラス（東京都）**は、建築群が内包する広場や路地等を主要素として外部空間を形成し、周囲の純和式建築物や庭園とゲートによってつながるように計画された。

H25 14

公共建築物とその特徴に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**水戸芸術館**(茨城県水戸市)は、公園内に立地するため、周辺環境との調和を重視し、高さは2階と低く抑え、建築群を回廊でつないだ施設である。
- 2．**丸亀市猪熊弦一郎現代美術館**(香川県丸亀市)は、建築と美術と都市空間が一体と なった景観に寄与しており、駅前の広場に面した壁面部分に入口をもつ施設である。
- 3．**八代市立博物館「未来の森ミュージアム」**(熊本県八代市)は、公園の一角に築かれた丘に埋まるように 1 階の展示室があり、 2 階にエントランス、最上階に収蔵庫が設 置されている。
- 4．**新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」**(新潟県新潟市)は、本体施設の屋上庭園と複数の浮島状の空中庭園が回遊性をもつペデストリアンデッキで結ばれ、公園と一体 化したパブリックスペースを形成している。

H25 3

建築物の保存、再生、活用等の事例に関する次の記述のうち、最も不適当な ものはどれか。

- 1．**アートプラザ(大分市)**は、図書館をギャラリー等からなる芸術文化の複合施設にしたものである。
- 2．**リンゴット工場再開発(トリノ)**は、巨大な自動車工場を、見本市会場、音楽ホール、ホテル、会議場等からなる複合施設にしたものである。
- 3．**倉敷アイビースクエア(倉敷市)**は、連続するのこぎり屋根をもつ平家建ての紡績工場の棟の一部を撤去してできたオープンスペースを中心として、展示施設、ホテル 等からなる複合施設にしたものである。
- 4．**旧大社駅舎(出雲市)**は、創建時の赤レンガの外観を再現するとともに、地震に対する安全性を高めるために免震工法を採用し、観光施設にしたものである

H27 17

建築物等の再生の事例に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**ハイライン(ニューヨーク市)**は、1980年に廃道となった高速道路を、路面上は緑道、高架下は大規模なショッピングモールへ再生させたものである。
- 2．**ジェミニ・レジデンス(コペンハーゲン市)**は、港湾施設として使用されていたサイロを改修し、集合住宅へ再生させたものである。
- 3．**山梨市庁舎東棟(山梨市)**は、1970年代に建設された工場を、プレキャスト鉄筋コンクリート部材のアウトフレームを用いて耐震改修し、庁舎へ再生させたものであ る。
- 4．**金沢市民芸術村(金沢市)**は、大正から昭和初期に建設された紡績工場の倉庫 6 棟を改修し、工房、レストラン、オープンスペース等から構成される芸術文化施設へ再生させたものである。

H28 2

建築物の保存、再生、活用等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**東京駅丸の内駅舎(東京都千代田区)**は、赤レンガのファサードをもつ駅舎であり、特例容積率適用地区制度を活用して、未利用容積を周辺建築物に売却・移転したう えで、保存・復原したものである。
- 2．**目黒区総合庁舎(東京都目黒区)**は、民間企業の本社屋として建築された建築物を、耐震補強、設備改修等を行ったうえで、庁舎として再生・転用したものである。
- 3．**神奈川県立近代美術館鎌倉館(神奈川県鎌倉市)**は、竣工時の形状を損なうことなく地震に対する安全性を高めるため、免震レトロフィット工法を採用し、保存・改修 したものである。
- 4．**旧門司税関(福岡県北九州市)**は、明治・大正時代の歴史的建造物を活かしたまちづくりである「門司港レトロ事業」の一環として、明治 45年に建築された税関庁舎を、港湾緑地の休憩所等として再生・活用したものである。

R3 17

歴史的建築物の改修や保存に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．**倉敷アイビースクエア（岡山県）**は、明治初期に建設された工場を商業施設に改修し、中央に設けたガラス屋根のアトリウムを市民に開放することで、公共性の高い空間を実現したものである。
- 2 ．**金沢市民芸術村（石川県）**は、大正から昭和初期に建設された紡績工場の倉庫を改修し、工房、レストラン、オープンスペース等から構成される芸術文化施設へ再生させたものである。
- 3 ．**千葉市美術館（千葉県）**は、昭和初期に銀行として建設された既存建築物全体を新築の建築物で覆う「鞘堂」という日本古来の方式により整備したものである。
- 4 ．**ロームシアター京都（旧京都会館）（京都府）**は、昭和 30 年代に建設された既存建築物を保存し、意匠的な要素を再現しながら、増築と一部建て替えを行うことで、機能拡充が図られたもので ある。

R元 17

美術館（設計者）に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．**ニューヨーク近代美術館（谷口吉生）**は、敷地の北側と南側に通抜けが可能なエントランスホールがあり、中庭と連続する空間となっている。
- 2 ．**ロサンゼルス現代美術館（磯崎新）**は、赤砂岩の外壁をもつ基壇部があり、その基壇部の上にピラミッド型のトップライト等が配置されている。
- 3 ．**フォートワース現代美術館（安藤忠雄）**は、平行に並べられた長方形の室によって展示室が構成され、その展示室には日差しへの配慮から深い庇が掛けられている。
- 4 ．**アスペン美術館（坂茂）**は、建築物の中央部にアトリウムがあり、アトリウムに面した螺旋状のスロープによって、最上階から地上階まで連続した空間となるように計画されている。

R2 15

図書館等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1 ．**金沢市立玉川図書館（石川県、1979 年）**は、東側の開架部門と、中庭を挟んで西側にある学習・管理部門を分けることによって、開架部門を気軽に立ち寄り利用できる空間とした図書館である。
- 2 ．**朝霞市立図書館本館（埼玉県、1987 年）**は、成人開架と児童開架を L字型平面に振り分け、自習室を設けず、閲覧席を少数にするなど、貸出を重視した図書館である。
- 3 ．**苅田町立図書館本館（福岡県、1990 年）**は、多様な閲覧席と豊富な資料を備え、開架書架群に沿ってベンチ、和室、屋外読書スペースなどを設けることで、来館者が長い時間を過ごせるように計画した図書館である。
- 4 ．**ぎふメディアコスモス（岐阜県、2015 年）**は、木造格子屋根をもつ市立中央図書館や、市民活動交流センター、多文化交流プラザ及び展示ギャラリー等からなる複合施設である。

H30 17

次の建築物に関する記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**東京国際展示場（通称：東京ビッグサイト）**は、4本の巨大な柱によるスーパーストラクチャーによって支えられた「コングレスタワー」と呼ばれる会議棟が施設のシンボルとなっている。
- 2．**福島県産業交流館（通称：ビッグパレットふくしま）**は、楕円に近い形状をもつ「マザールーフ」と呼ばれる大屋根に特徴があり、「ビッグパレット」の由来となっている。
- 3．**横浜国際平和会議場（通称：パシフィコ横浜）**は、パーゴラのある中央広場を囲むように、劇場棟、展示棟及び会議棟が配置されており、屋根の形状については大空に羽ばたく 鳳 がイメージされている。
- 4．**千葉県日本コンベンションセンター国際展示場（通称：幕張メッセ）**は、シルエットが山並みをイメージさせる第Ⅰ期計画の建築物と、屋根形状が凹面から凸面に波のように変化する第Ⅱ期計画の建築物があり、これらがつくりだすスカイラインに特徴がある。

H29 2

建築物の保存・再生の事例に関する次の記述のうち、最も不適当なものはど れか。

- 1．**犬島精錬所美術館(岡山県)**は、20世紀初頭に閉鎖された精錬所の遺構を活用し、 自然エネルギーを積極的に利用した美術館として保存・再生させたものである。
- 2．**3331ArtsChiyoda(東京都)**は、廃校になった中学校を、アートギャラリーを含む文化施設等として保存・再生させたものである。
- 3．**カステルヴェッキオ美術館(イタリア ヴェローナ)**は、14世紀に建設された歴史的建造物である城を、美術館等として保存・再生させたものである。
- 4．**リンゴット工場再開発計画(イタリア トリノ)**は、20世紀初頭に建設された巨大な自動車工場を、現代美術館として保存・再生させたものである。

H29 17

図書館(設計者等)に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- 1．**ベルリン自由大学図書館(フォスター・アンド・パートナーズ)**は、傾斜した巨大な円錐状の屋根構造をもち、外壁には世界各地・各時代の文字が彫り込まれている。
- 2．**フランス国立図書館(ドミニク・ペロー)**は、緑豊かな中庭をもつ口の字型の基壇部と、その四隅に配置されたL字型の高層タワーから構成されている。
- 3．**シアトル中央図書館(OMA)**は、外観全体が格子状の鉄骨とガラスで構成され、室内空間に外光を導いている。
- 4．**ストックホルム市立図書館(エーリック・グンナール・アスプルンド)**は、円筒と直方体が組み合わされた外観をもち、巨大な円筒の内部には、壁に沿って書架があり、 中央にサービスデスクが設けられている。

- 突板を格子状に編んだスクリーン
- アスペン美術館（坂茂）
  - ガラスカーテンウォール
- 通抜けが可能なエントランスホール
- ニューヨーク近代美術館（谷口吉生）
  - 中庭と連続する空間
- 赤砂岩の外壁をもつ基壇部
- ロサンゼルス現代美術館（磯崎新）
  - ピラミッド型のトップライト
- 平行に並べられた長方形の室
- フォートワース現代美術館（安藤忠雄）
  - 深い庇
- 東京国際展示場（通称：東京ビッグサイト）
  - 4本の巨大な柱
    - スーパーストラクチャー
      - 会議棟
        - 「コングレスタワー」
- 福島県産業交流館（通称：ビッグパレットふくしま）
  - 楕円に近い形状大屋根「マザールーフ」
  - 「ビッグパレット」の由来
- 横浜国際平和会議場（通称：パシフィコ横浜）
  - 円形広場
    - 歩行者デッキ
- グッケンハイム美術館
  - 中央部にアトリウム
  - 螺旋状のスロープ
- 沖縄コンベンションセンター
  - パーゴラのある中央広場←かこむ
  - 劇場おおとり棟、展示棟及び会議棟
    - イメージ；大空に羽ばたく鳳
      - 屋根の形状
- 千葉県日本コンベンションセンター国際展示場（通称：幕張メッセ）
  - 第Ⅰ期：シルエットが山並みをイメージ
    - キールアーチ
  - 第Ⅱ期：屋根形状が凹面から凸面に波のように変化
    - サスペンション構造
- 世田谷美術館（東京都）
  - 周辺環境との調和：公園内に立地するため、
    - 2階建
  - 建築群を回廊
- 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川県丸亀市）
  - 一体；建築と美術と都市空間
    - 駅前の広場に面する
    - 入口；壁面部分
- 八代市立博物館「未来の森ミュージアム」（熊本県八代市）
  - 公園の一角；丘に埋まる
    - 最上階；収蔵庫
    - 2 階；エントランス
    - 1 階；展示室
- 新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」（新潟県新潟市）
  - 屋上庭園（本体施設）と空中庭園
    - 回遊性＝ペデストリアンデッキ
  - 公園と一体化→パブリックスペースを形成
- ハイライン(ニューヨーク市)
  - 貨物鉄道の高架線路
  - 公園へ再生
- ジェミニ・レジデンス(コペンハーゲン市)
  - 集合住宅
    - サイロ
      - ガラス屋根
- 山梨市庁舎東棟(山梨市)
  - 工場棟→庁舎
    - 耐震改修
    - コンクリート部材のアウトフレーム
- 金沢市民芸術村(金沢市)
  - 紡績工場→芸術文化施設
  - 井水利用（池）→消雪
- 国際子ども図書館
  - 既存のレンガや石の活用
    - 安藤忠雄
  - 既存のデザインと共生
- まちとしょテラソ［小布施町立図書館］
  - 角形平面プラン
  - 間仕切りを必要最小限
- フランス国立図書館
  - 緑豊かな中庭
  - 口の字型の基壇部
    - 四隅に配置されたL字型の高層棟
- デンマーク王立図書館
  - 既存の王立図書館（旧館）
    - 道路を挟んだ運河側
    - 黒色のガラス張りの新館

- 犬島精錬所美術館(岡山県)
  - 精錬所→美術館
  - 自然エネルギーの利用
- 3331ArtsChiyoda(東京都)
  - 中学校→アートギャラリー（含む）
  - 文化施設等
- シンアレクサンドリア図書館（フォスター・アンド・パートナーズ）
  - 屋根構造；傾斜した巨大な円錐状
  - 外壁；世界各地・各時代の文字が彫り込み
- カステルヴェッキオ美術館(イタリア ヴェローナ)
  - 城→美術館等
- リンゴット工場再開発計画(イタリア トリノ)
  - 巨大な自動車工場→見本市会場、音楽ホール、ホテル、会議場等からなる複合施設
  - ✕美術館はない
- ベルリン自由大学図書館（ノーマン・フォスター）
  - 文献学図書館
    - アルミニウムとガラスのパネル
    - 球形ドーム二重構成
  - 外周の縁が蛇行；2～4 階（覆う）
- フランス国立図書館(ドミニク・ペロー)
  - 4本の字形平面
    - 口の字型の基壇部
    - 緑豊かな中庭
    - L字型の高層タワー
- シアトル中央図書館(OMA)
  - 外観：格子状の鉄骨とガラス
    - 室内空間←外光
  - 多面体：不規則並べて
- ストックホルム市立図書館(エーリック・グンナール・アスプルンド)
  - 外観：円筒と直方体の組合わせ
    - 巨大な円筒の内部
      - 壁沿い：書架
      - 中央：サービスデスク
  - 吹抜け：縦長窓→光
- ★アートプラザ(大分市)
  - 図書館→芸術文化複合施設
    - 磯崎　新
  - 市民ギャラリー、アートホール、
- ★リンゴット工場再開発(トリノ)
  - 巨大な自動車工場→
    - 見本市会場、音楽ホール、ホテル、会議場等からなる複合施設
  - レンゾ・ピアノ
- ★倉敷アイビースクエア(倉敷市)
  - 紡績工場の跡地
    - 展示施設、ホテル 等からなる複合施設
    - 美観地区内
  - 連続するのこぎり屋根
    - レンガ積み
    - オープンスペース
- ★旧大社駅舎(出雲市)
  - 純日本風木造平屋
    - 瓦屋根
- TIME'S Ⅰ、Ⅱ（京都府）
  - 安藤忠雄
  - 複合商業施設
    - 水辺空間と調和
- 近つ飛鳥博物館
  - 安藤忠雄
  - 屋根全体を大階段の展望広場
    - スリット状のアプローチ
- アオーレ長岡（新潟県）
  - 市民協働、市民交流の拠点
  - 屋根付き広場
- 太田市美術館・図書館（群馬県）
  - 五つのボックス
  - 緑化された屋上
- 代官山ヒルサイドテラス（東京都）
  - 純和式建築物（周囲）
  - 都市型集合住宅
- 東京駅丸の内駅舎(東京都千代田区)
  - 赤レンガ
  - 特例容積率適用地区制度
- 目黒区総合庁舎(東京都目黒区)
  - 民間企業の本社屋
  - 村野藤吾
- 神奈川県立近代美術館鎌倉館(神奈川県鎌倉市)
  - 坂倉準三
  - 1階ピロティ＋中庭
- 旧門司税関(福岡県北九州市)
  - 門司港レトロ事業
  - 港湾緑地の休憩所等
- 国立西洋美術館
  - 免震レトロフィット工法

- 住田町役場（岩手県）
  - トラス梁
  - ラチス耐力壁
- 群馬県農業技術センター（群馬県）
  - 格子膜構造
- 海の博物館展示棟（三重県）
  - 立体木造トラス構法
- 国見町庁舎
  - ガラスカーテンウォール
    - 木製ルーバー
  - 鋼材を内蔵した集成材
- 出雲ドーム（島根県）
  - 木造ドーム
    - 立体張弦アーチ
      - プッシュアップ工法

- 倉敷アイビースクエア（岡山県）
  - 紡績工場
  - ホテル、展示場
- サッポロファクトリー
  - ガラス屋根のアトリウム
  - 工場を商業施設に改修
- 金沢市民芸術村（石川県）
  - 紡績工場
  - 芸術文化施設
- 千葉市美術館（千葉県）
  - 鞘堂
  - 銀行
- ロームシアター京都（旧京都会館）（京都府）
  - 前川國男
  - ピロティ、中庭